

発 言 通 告 書

令和6年6月18日

松山市議会議長 渡部克彦 殿

松山市議会議員 松波雄大

次のとおり通告します。

| | | | | |
|---------|-------------------------|----------------------|-----------------------|-----------|
| 発言順位 | 5 | 受領日時 | 6月 18日 午前 11時 50分 | 1 枚中 1 枚目 |
| 質問等の方式 | 一問一答方式 | 一括方式 | 発言時間 | 約 40 分 |
| 答弁を求める者 | ・市長 ・教育長 ・農業委員会会長 | ・選挙管理委員会委員長 ・監査委員 | ・公平委員会委員長 ・公営企業管理者 | |

| No | 件 名 | 発 言 の 要 旨 |
|----|----------------|---|
| 1 | 不登校支援について | (1) サポートルームの拡充について (2) 不登校対応アクションプランの改訂内容について (3) フリースクールに関する支援について |
| 2 | 市街化調整区域の活用について | (1) 既存の取組について (2) 弾力化の活用事例について ① 本市市街化調整区域における弾力化の活用事例はあるか。 ② 「観光振興のために必要」とはどのようなことを指しているのか。 (3) 地域の観光振興、活性化を目指した取組について |
| 3 | はぴまるの丘について | (1) 現在の犬猫受入基準と対応について ① どのような犬猫を受け入れるのか。 ② けがをしていない子猫を保護し連れて行っても受け入れてもらえるのか。 ③ 具体的にどのような処置を想定して機材を導入したのか。 (2) 情報発信について (3) 譲渡会の開催について |
| 4 | 本市で働く人材の現状について | (1) 外部出向者の離職について ① 出向先はどのようなところか。 ② 出向にかかる経費は一人当たりどのくらいか。 ③ 出向者の離職数はどのくらいか。 ④ 本市職員の20～30代の離職数はどのくらいか。 (2) さらなる民間人材の活用について |
| | | |
| | | |
| | | |